



うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。  
どれだけ実践できているか、チェックしてみましょう！

作業したら直ちに記帳しよう(営農の手引き綴じ込みの農作業メモ・栽培履歴記録簿へ)

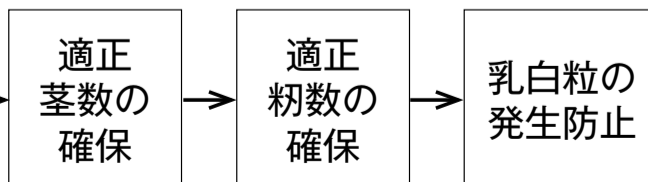
三点セット(適正栽植密度、植付本数、5月田植)で乳白粒の発生を防止しよう

推進技術	目標	チェック
1 播種量 (うす播きの励行)	・ 1箱当たり乾もみ120gの播種は実施できましたか。 (太植による過剰生育の抑制)	
2 育苗日数 (健苗の育成)	・ 播種から田植えまで <b>1か月以内</b> の育苗日数が守れましたか。 (初期生育の確保)	
3 植付本数 (3~4本植えの励行)	・ 1株当たり3~4本の植付本数を守りましょう。(適正茎数の確保)	
4 適正な栽植密度 (優良茎の確保)	・ 1坪当たり50~60株の栽植密度が確保できましたか。 (適正茎数の確保・乳白粒対策)	
5 適正な施肥 (栄養凋落防止と登熟向上)	・ 生育に応じた施肥ができていますか。 ・ 生育状況に応じた追加穂肥の実施をしましょう。	
6 田植え時期 (早植えの防止)	・ 5月田植えを実施できましたか。(過剰生育の防止)	
7 中干し・溝切り (遅発分けつの抑制)	・ 田植え <b>1か月後</b> からの実施 (過剰生育防止) ・ 中干し期間 <b>1か月</b> (コシヒカリ)の遵守	
8 除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・ 7月上旬までの追加除草 ・ 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施	
9 水管理 (飽水管理の徹底)	・ 中干し後から出穂までの約 <b>1か月</b> (コシヒカリ)の飽水管理 ・ 出穂から刈取り直前までの <b>1か月以上</b> の飽水管理 (乳白粒対策、胴割粒防止)	
10 刈取時期 (適期刈取りの励行)	・ もみの黄化程度に応じた刈取り	

今月のポイント① コシヒカリの田植えは適正な栽植密度、3~4本植え、5月植えで！  
営農の手引き31ページも参照ください。

- 乳白粒の発生防止は過繁茂防止から。
- 過繁茂防止は50~60株/坪植え、植付本数3~4本/株、5月田植えとし、50株/坪植えは15箱/10a、60株/坪植えは18箱/10aで植付しましょう。  
※中山間地や晩期コシヒカリは、収量確保のため、60株/坪植え以上としましょう。

ゆめみづほ：60株/坪植え  
コシヒカリ50~60株/坪植え  
晩期コシヒカリ60株/坪植え以上  
植付本数3~4本/株



▲3~4本植えイメージ  
平均3本/株

裏へ続く

今月のポイント② 農薬使用基準を守って使うこと！

営農の手引き30ページも参照ください。

- 初期害虫・いもちの同時防除（箱施薬剤）
- 農薬の使用量、使用時期等を必ず守って下さい。

使用薬剤	効果・特徴	使用量	使用時期
Dr.オリゼプリンス 粒剤6	いもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、イネドロオイムシ、イネミスゾウムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ、イネツトムシ、 <b>イナゴ類</b>	50g/箱	緑化期～ 田植当日
Dr.オリゼリディア 箱粒剤	いもち病、白葉枯病、イネドロオイムシ、イネミスゾウムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ、イネヒメハモグリバエ、イネカラバエ、フタオビコヤガ、 <b>イナゴ類</b>		移植3日前～ 田植当日

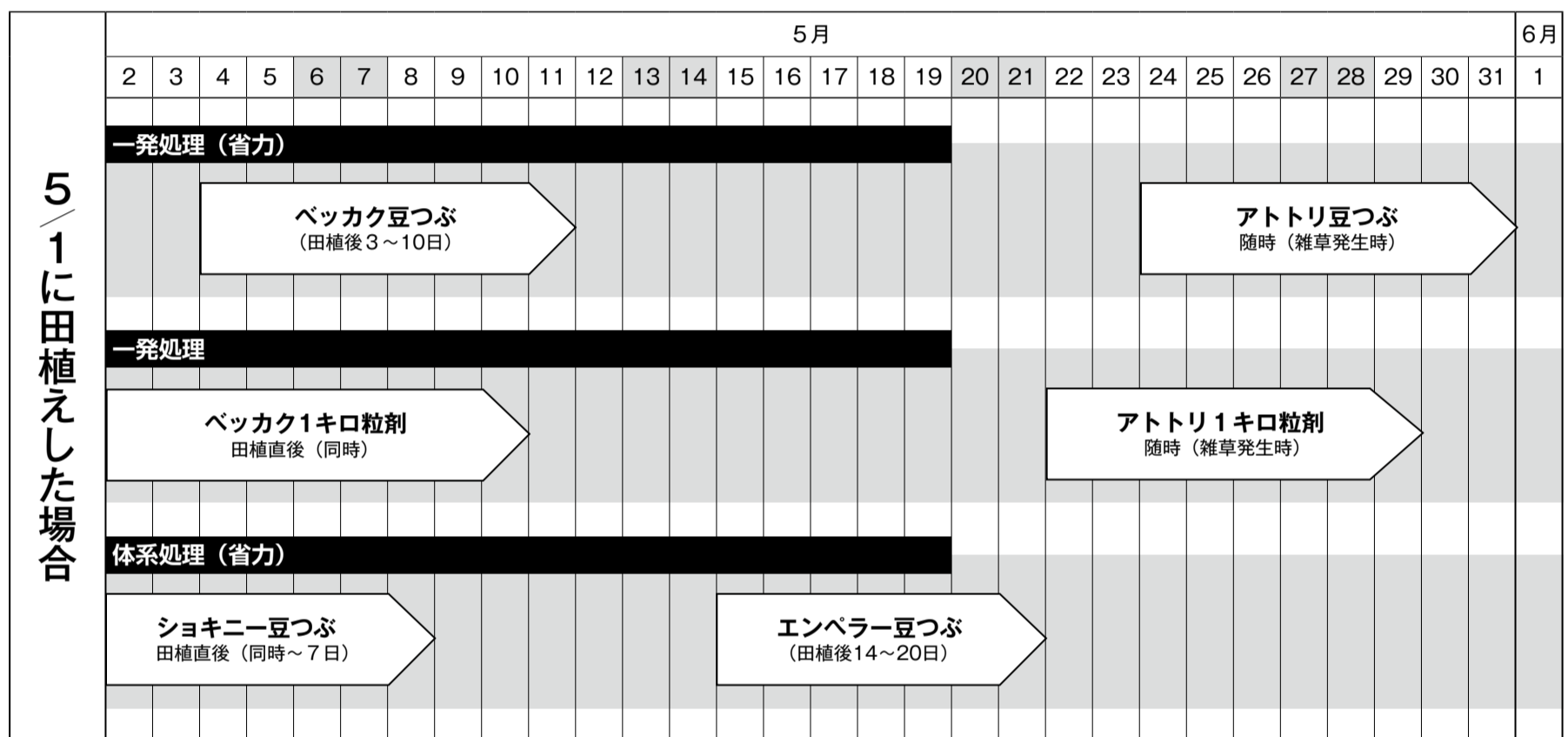
※水稲育苗後、ハウス内で野菜等を作付けする場合は、ハウス内での箱粒剤の散布を控えてください。  
 ※苗箱に箱施薬剤と間違っって本田除草剤をまかないよう注意してください。高密度育苗の方はJAにお問い合わせください。

環境保全のため、にがり水の流出を防止しよう

中干し開始の目安は田植後一か月!!

今月のポイント③ ほ場にあった除草体系と除草剤散布後7日間の止水を徹底！

営農の手引き18～20、23ページも参照ください。



- ラベルに記載された使用方法を守って散布しましょう。
- 防除の効果を上げるため田干しを行い、藻・表層剥離が見受けられる場合はモゲトン粒剤を散布しましょう。

今月のポイント④ 田植同時除草剤の使用上の注意点

**田植同時除草剤を使用する場合、苗の根が除草剤に接触すると薬害を生ずることがありますので下記の点に注意してください！（高密度育苗の方は厳守）**

- 除草剤の効果を高めるために代かきを丁寧に行うこと。
- 水もちの悪い圃場では使用しない（1日で水がなくなる圃場）
- 極端な浅植えにならないよう田植機の植え付け深度を事前に調整する。→根が地表に出ないようにすること

高密度育苗栽培の注意点

- 初期病虫害防除：従来の防除体系（箱施薬剤）に準じて行いましょう。
- 水稲除草剤：田植え3～5日後の散布をおすすめします。
- 田植時の土壌条件：下記の点に留意してください。
  - ①植穴に速やかに土が戻る程度の固さにしましょう。
  - ②水深は落水～ひたひた程度にしましょう。
- 栽植密度と植付本数：60株／坪、3～4本／株となるよう田植機の設定を確認しましょう。
- 今月のポイント④は厳守。